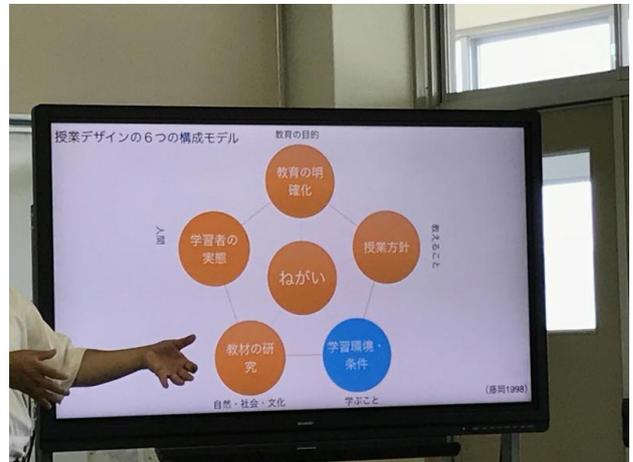
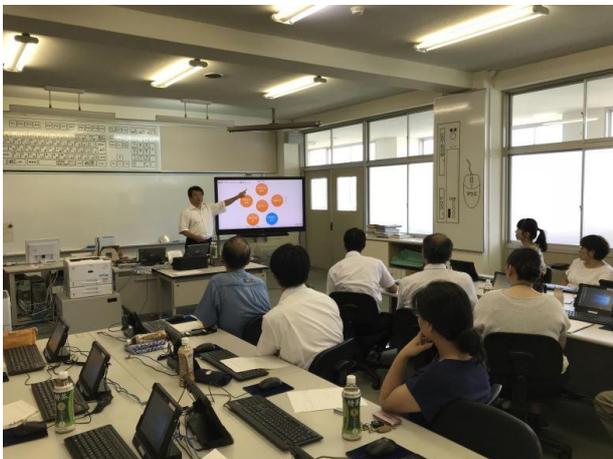


1 教職員研修（夏季実技研修会）について

平成 30 年 8 月 3 日、東温市立南吉井小学校において、情報教育委員会・視聴覚教育委員会合同夏季実技研修会を行った。研修会は、「知らないと損をする！NHK for School のこんな機能×タブレットで楽しい授業」と題して、松山市立椿小学校 石田年保教諭に講師を依頼した。参加者は 16 名であった。

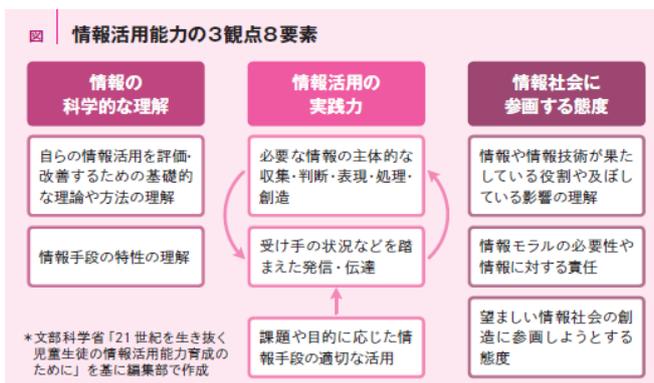


授業デザインの6つの構成モデルは、教育の明確化、学習者の実態、教材の研究、学習環境・条件、授業方針、そして、ねがいがあげられる。



「松山市に住んでいる、18歳の女性で、血液型がAB型の人はいくらいるか。」という問題を解く。それぞれが、検索ワードを使ったり、「Google マップ」を使ったりして、答えを導き出す。そのためには、計算の仕方、読み書き、コンピュータ・リテラシーなど、多様な力が必要である。それぞれの仕方で、約0.6人程度あることが分かった。どのように問題解決をするか、その道筋の基礎をしっかりと学ばせておかなければならない。

タブレット端末を使って、側方倒立回転や、ロンダートの学習をした。児童の「学び」に適した使い方をすることで、児童の力を伸ばすことができる。児童の「学び」へ向かう力を伸ばすために、支援が必要である。



深い学びとは、知識（宣言的な知識）・技能（手続き的な知識）が、関連付けて構造化されたり、身体化されたりして、高度化し、駆動する状態に向かうことである。こういうことが起こるときに充実感・達成感・自己有用感・一体感が生まれる。そして、人生や社会に生かす新たな学びに向かう力が生まれ、人間性が育まれていくということをお話ししていただいた。

その他、「NHK for School」の活用の仕方について、動画の効果的な活用の方法を教えていただいた。

2 課題

タブレット端末のカメラ機能を使った学習をすることは簡単であるので、アイデアを生かして、楽しい授業を作っていかなければならない。児童の実態に合ったものでないと、機器を使っただけでは、学習が成立しない。教材研究を重ね、アナログを積み重ねた上でのタブレット端末の活用で、子どもの学力を伸ばしていくことが大切である。